

令和6年6月定例会補正予算等の概要

1. 編成概要

今回の補正予算では、①少子化対策と子育て環境を一層充実させるとともに、②予防医療を押し進める。また、③良好な都市基盤・交通基盤を整備し、④インバウンド対策を強化する。さらに、大規模災害に備え、安心して過ごせる避難所づくりに取り組むほか、令和7年度に目標年次を迎える「長期的水需給計画」の改訂に着手する。

①少子化対策と子育て環境の充実

現在、出産世帯への支援では、(1)夫婦ともに29歳以下の世帯には県市連携で、(2)そのほかの世帯で住民税が非課税の世帯には松山市独自で、育児用品などの購入や奨学金の返済費用を補助している。今回の補正予算では、県と引き続き連携し、(1)の対象を夫婦ともに「35歳以下」の出産世帯まで拡大する。また、(2)の世帯には、松山市独自の支援を継続する。

②予防医療の推進

令和6年の秋から、希望する65歳以上の方などを対象に新型コロナワクチンの定期予防接種を開始する。また、健康増進法に基づき、40歳・50歳・60歳・70歳を対象に無償で実施している歯周病検診に、新しく20歳と30歳を追加する。若者から高齢者まで切れ目なく検診の機会を提供し、歯周病の早期発見、早期治療につなげる。

③良好な都市基盤・交通基盤の整備

バリアフリーに配慮した低床路面電車(LRV)を導入する交通事業者を支援し、多くの方々が利用しやすい交通環境を整備する。

また、国が実施する松山空港や松山港外港整備の事業費の一部を負担する。

④インバウンド対策の強化

松山空港のソウル線が10月までの間、週7便から12便に増便されることに伴い、航空会社や旅行会社を支援するとともに、無料送迎バスなどの費用を追加で補正し、国際線の利用促進と一層の観光誘客につなげる。

このほか、大学や防災士会、防災リーダークラブなどと連携して、大規模災害に備えた避難所開設や初動対応の訓練プログラムを作成し、自主防災組織による訓練を行う。

また、本市の「節水型都市づくり」の方針などを示す「長期的水需給計画」が令和7年度に目標年次を迎えるため、計画の改訂や検証作業に着手する。

2. 主な事業

(単位:千円)

① 少子化対策と子育て環境の充実

(1) 出産世帯応援事業	219,909
(2) 出産世帯奨学金返還支援事業	138,404

② 予防医療の推進

(1) 新型コロナワクチン定期予防接種事業(B類定期予防接種事業)	909,004
(2) 歯科保健事業	9,983

③ 良好な都市基盤・交通基盤の整備

(1) 公共交通利用促進環境整備事業	108,000
(2) 松山空港国直轄整備事業地元負担金	95,441
(3) 松山港国直轄整備事業地元負担金	90,134

④ インバウンド対策の強化

(1) 国際観光客誘致促進事業	39,333
(2) 松山空港国際化支援事業補助金	18,676
(3) 松山空港利用促進協議会負担金事業	6,144

・ 避難所開設・初動対応訓練プログラム作成・実施事業(自主防災推進事業)	2,000
・ 長期的水需給計画改訂事業	26,900

3. 補正予算の規模

(単位:千円)

区分	6月補正額	累計	対前年同期伸率
一般会計	1,750,147	227,502,642	6.02 %
特別会計	18,229	153,557,529	5.76 %
企業会計	—	51,241,100	1.30 %
計	1,768,376	432,301,271	5.34 %
公債管理特別会計	—	17,804,400	
合計	1,768,376	450,105,671	

4. 議案等

○承認案	2 件
○予算案	2 件
○条例案	10 件
○事件案	16 件
○人事案	3 件
(計)	33 件
○報告	23 件